

ドイツ *Federal Republic of Germany*

カーニバル *Karneval*



「バラの月曜日」のパレード(旧市街) [著者撮影]



「バラの月曜日」の山車(旧市街) [著者撮影]

デュッセルドルフのカーニバル

カーニバルはドイツ西部のラインラント地方で主に2月下旬に行われる祭りです。山車行列が町中を練り歩き、人々は仮装してパレードやパーティーを楽しみます。

カーニバルは謝肉祭とも呼ばれます。カトリックの国では復活祭の前の40日間は日曜日以外肉を断つ義務がありましたが、その前に大いに肉を食べ騒ぐ風習が生まれ、これが謝肉祭となりました。実はキリスト教以前にも「ファスナハト(ファッシング)」と呼ばれる冬を追い払う古い風習があり、これも起源だと言われています。

11月11日11時11分にカーニバルの妖精ホッペディッツが目覚めるのがカーニバルのシーズンの始まりです。そして最も祭りが盛り上がるのが、木曜日の「女性のファスナハト(Weiberfastnacht)」から始まりホッペディッツが火葬される水曜日「灰の水曜日(Aschenmittwoch)」で終わる2月下旬の一週間です。中でも月曜日の「バラの月曜日(Rosenmontag)」はカーニバル最大のハイライトとして最も盛大に祝われます。

カーニバルに参加して

「女性のファスナハト」の日には女性が男性のネクタイを切るという風習があります。私の通っていたデュッセルドルフの日本人学校でも、その日は男の先生のネクタイを女子児童たちが切っていました。

バラの月曜日は学校も休みになる一大イベントです。旧市街の広場を数十台の大きな山車が通ります。山車は企業の宣伝を行うものや政治家を風刺するようなものが多いです。



仮装した人々(市内他地区) [著者撮影]

仮装した人々は山車に向かって「ヘラウ(Helau)！」と叫び、山車の上に乗っている人達が投げるお菓子をもらいます。柵越しに袋や傘を広げてなるべく多くお菓子をキャッチしようとしている人も多かったです。「ヘラウ！」はデュッセルドルフの掛け声で、ケルンでは「アラーフ(Alaaf)！」です。

一番盛大に行われるパレードはバラの月曜日に旧市街で行われるパレードですが、その前の土曜日・日曜日にも他の地区でのパレードやパーティーが行われるので、毎日どこかで祭りを楽しめます。

参考文献・画像出典

- ドイツ連邦共和国大使館総領事館ホームページ：<https://japan.diplo.de/ja-ja/themen/kultur/karneval-legend/967296>
- 谷口幸男, 遠藤紀勝『図説ヨーロッパの祭り』(河出書房新社, 1998年)
- パイ インターナショナル編著『世界の祭りと衣装』(パイ インターナショナル社, 2019年)

オ ス ス メ の 一 冊



世界の祭りと衣装 パイ インターナショナル編著 (パイ インターナショナル, 2019年)

【請求記号】3800:1983

本文の参考文献にも使いました。イタリアのカーニバルや南ドイツのファスナハトに比べて、ラインラント地方のカーニバルについて書かれた文献は意外と少ないのですが、この本ではデュッセルドルフとケルンのカーニバルがそれぞれ写真付きで紹介されています。載っている祭りの種類も多く、写真も綺麗なのでおすすめです。

執 筆 者 紹 介

北村 薫 / 言語社会研究科修士2年

趣味はカフェ巡りです。最近盆栽を育てています。

